

弾道ミサイルを想定した身を守る姿勢について



北朝鮮は弾道ミサイルの発射実験を繰り返しており、我が国の排他的経済水域に落下する事案も発生しています。

万が一にもミサイルが発射された時には、直ちに頑丈な建物に避難するとともに、身を守る行動・姿勢（注）をとってください。

近くに頑丈な建物がない場合や避難する時間がない場合には、その場所で身を守る行動・姿勢をとってください。

（注）身を守る行動（姿勢）とは？

- ・その場所で、ダンゴ虫のように丸くなりしゃがみ込むか、地面にうつ伏せになります。
- ・爆風で異物が目に入らないように、しっかりと目を閉じます。
- ・爆風や爆音で耳の鼓膜が破れないように、両耳を手で塞ぎます。
- ・近くで爆発が起こると瞬間的に周囲の気圧が高くなります。すると耳の鼓膜の外側と内側の気圧差が大きくなり、鼓膜が破れる可能性がありますので、それを防ぐためにも口は少し開いておくようにします。（以下の体制を、参考にしてください。）



ダンゴ虫のような丸まった姿勢



地面にうつ伏せになった姿勢